



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 鶴島 一広
 〒104-0031 中央区京橋3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

安心して働ける職場を！

―第5回地本定期大会開く―

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部第5回定期全国大会が、7月30日、渋谷区立勤労福祉会館で開催されました。中央本部中村書記長をはじめ来賓の激励と、大会代議員の熱心な討論で、増員や深夜労働、20条裁判などのたまたかう方針を確認しました。



営業ノルマの押し付けや後を

絶たないパワハラ、セクハラ、マタハラ、人事評価、スキル評価の問題点等々様々な課題について、現状と改善の取り組みの議論がおこなわれました。また組織拡大の取り組みについての報告がありました。

議論を通じて、引き続き要員不足解消の取り組みを強化する、ネットワーク再編について

は丁寧な対応をおこなう、深夜労働改善に向け交流会などの対応が必要、支部機能強化・活性化に向けた取り組みと組織拡大のとりくみ、人事評価、スキル評価について、苦情相談・苦情処理で適宜対応していくことなどが確認されました。

続いて、2号議案の提案の討論をおこない、1号議案2号議案ともに全員賛成で採択されました。

その後、役員選挙をおこない、立候補者全員が信任されました。

した。谷川さん(特定局支部)浅川さん(晴海支部)兩名が退任のあいさつをおこない、拍手をもってその労をねぎらいました。

最後に大会アピール案が提案され、代議員による拍手で採択され、鶴島委員長の団結ガンバローで第5回大会を終了しました。



大会終了後、夏のレクリエーションとして東京湾クルージングがおこなわれました。大会代議員、仕事を終えて駆け付けた人、関東地本の仲間、JAL争議団の仲間など40名の参加でした。潮風を感じながら、盃をかわし、交流を深め、新たな船出のひとつとなりました。

東京日付印

沖縄の人の気持ちを無視し、なんとしても米国の為に基地建設を強行する政府

は、沖縄振興予算が基地問題と『リンクする』と露骨に脅しをかけ始めた。さらに、沖縄の民意が参院選で落選させた島尻安伊子前沖縄北方相をあるうことか沖縄担当の補佐官に起用するという。沖縄に対する嫌がらせでしかない▼米国のご機嫌取りで沖縄を弾圧するこの錯乱が安倍政治の手詰まりを物語っている。安倍政権は、参院選が終わった途端に他県から沖縄に大量の機動隊を投入。約500人の機動隊員が座り込んで反対する住民を羽交い絞めにし、引き倒し、殴りかかって排除していった。力づくで米軍北部訓練所でのヘリパッド(着陸帯)建設に着手したのだ▼米国の為に日本の機動隊が国民を弾圧する。これが法事国家の姿なのか▼いま、沖縄で起きていることは、私たちにどうも他人事ではない。意に沿わないものは脅し、だまし、最後は力づくで排除する。これが安倍政権のやり方だからだ。実際、そうやってメディアに圧力をかけ懐柔してきた。(広)

人員不足解消、勤務時間管理、自爆営業、人事評価等

Ⅱ第5回大会要求書提出Ⅱ

郵便局の実態把握し 増員せよ!

時間内で業務が終わらず連日の超勤です。その上、営業活動等の戻たたきが行われ、成績の悪い班の役職者に対して降任・降格を促すパワハラ的な管理者も見受けられます。

近年、東京支社管内で交通事故や郵便事故が後を絶ちません。会社は、事故発生要因を個人の不注意ととらえている様ですが、私たち労働組合は、事故発生の根底にある大きな原因の一つに要員不足があると考えています。

東京支社管内では、いまだ1000人を超える期間雇用社員を募集しています。これは数年何ら変わりません。

また、各郵便局は人員不足で連日の超過勤務と休憩・休息時間もまともに取れずに働かせられています。そのしわ寄せは、郵便サービスの低下となつて地域利用者のみならず、多大な迷惑をかけています。

多くの職場では所定の勤務

常な業務運行を確保するよう要求しました。

ネットワーク再編 労働 夜間に集中

郵便ネットワークの再編により、集中局に深夜労働が集中し、労働密度が濃くなつてきている中、要員不足は深刻な問題です。

具体的には、各郵便局の必要労働力数を明らかにすること。そのうえで、期間雇用社員の不足数(募集数)を明らかにし、必要人員を雇用し正

また、一般局においても要員不足のために深夜労働において、常態的に休憩・休息が取れない状況や勤務表に示された時間に取りれない状況も確

また、サービス残業を故意に見過ごす行為や、勤務時間前着手を止めるよう指導しないことは労働基準法違反です。正常な勤務時間管理をするために以下を要求しま

認されています。身体に悪影響を及ぼす深夜労働を軽減するためにも必要な労働力を早急に確保するよう要求しました。

勤務時間管理 ますます 悪化

勤務時間管理について、毎

回の交渉で「各種会議や臨局した際、指導している」と回答しているが改善の兆しすら見えていません。本当に指導しているのか疑いたくなる状況です。

自爆営業 コンプラ 違反で処分

前回の交渉以降どのような対策を行ったのか、個別具体的に説明を求めました。また、その対策によってどれくらいの効果があったのか具体的に明らかにすること。また、前回の交渉で確認したことも含めて「是正する」と言ったが、調査した結果について具体的に明らかにするよう求めました。

また、サービス残業を故意に見過ごす行為や、勤務時間前着手を止めるよう指導し

また、サービス残業を故意に見過ごす行為や、勤務時間前着手を止めるよう指導しないことは労働基準法違反です。正常な勤務時間管理をするために以下を要求しました。

人事評価 対話なし 認識不足

新人事給与制度が本格実施されて2年目を迎えています。評価者の恣意的な解釈による評価や評価基準に対する認識不足が多く見受けられます。特に、対話については評価者によってあいまいな対応で統一されていません。また、異議申し立て等についてもどの用紙を渡すのかわからないといった状況です。

期間雇用社員に対するスキル評価についても、「なぜこのようなスキル基準なのか」を答えられない評価者もいます。このように、2年を経過した今日でも制度を理解されていない状況です。

要求は、東京支社の責任において、基礎評価、スキル基準、スキルレベルに基づく正当な評価と評価の公平性の向上を図る観点から各評価者に対する指導を再度徹底するよう求めました。

(詳細は交渉報告に)

秋のレク 決定 10月16日(日)

新年度役員

よろしくお願いします。

- 委員長 鵜島 一広 (港品川)
- 副委員長 石川 喜久 (港品川)
- 副委員長 田中 孝史 (新東京)
- 書記長 福田 秋彦 (東部)
- 執行委員
- 郡 公一朗 (目黒)
- 飯塚 定夫 (銀座)
- 伊東 孝雄 (渋谷)
- 小関 雅彦 (小石川)
- 菅野 アイ子 (特定)
- 木村 宜詞 (東部)
- 荒井 保男 (板橋)
- 阿部 充昭 (王子)
- 本宮 美明 (新東京)
- 会計監査 本松 康宏 (銀座)
- 丹野 欽司 (港品川)